

市議会
決算
委員会

党議員

一般会計から繰り入れて

他自治体
のように

高い国保料を引下げよ

市「引下げのための一般会計からの繰入れはしていない」

24年度
国保料

京都市等は据え置く
宇治市は10%超の大幅引き上げ

子どもの医療費
18歳まで無料化

世論と運動 議会論戦が動かす

2017年から議会で追及

子どもの医療費「18歳まで無料」の要求に、市は「効果は限定的」と拒否し続けて来ましたが、地元紙によると、現市長が公約に掲載。世論と運動、党議員団の議会論戦の成果です。府内で「中卒まで」は宇治市含め3市。市民要求に、先頭に立って応える市政が求められます。

「効果は限定的」と拒否し続けてきた宇治市



は保険料引き下げのために一般会計から繰り入れをしているのか確認。市は「保険料引き下げのための繰り

高い国民健康保険料を引き下げるために、他自治体は一般会計から国保会計に繰り入れを行っています。宇治市は2018年度から行っていない。党議員が、府資料（直近の22年度事業概要）を示し、宇治市は保険料引き下げのために一般会計から繰り入れをしているのか確認。市は「保険料引き下げのための繰り

宇治市議会は、10月28日（11月11日まで）決算特別委員会を開催。30日、国保特別会計の23年度決算の審議を行いました。

市民要求に応える財政の力はある

普通会計決算

6年連続で黒字幅を拡大

財政の健全性は府内トップクラス

自治体の黒字赤字を判断する実質収支は23年度も黒字で、黒字幅は6年連続で拡大、約8億7千万円。単年度収支も6年連続の黒字。財政の健全性を判断する健全化判断比率も府内トップクラス。物価高で苦しむ市民要求にこたえる財政の力があります。使い方が問われています。

23年度
決算

基金の運用方針 見直すべき

党議員団は、国保基金も保険料の引下げに活用するよう一貫して求めてきました。市は現在、基金残高3億円を維持する方針です。

入れはしていない。府資料に掲載の繰り入れ（基盤安定）は、保健事業のためのもの」と答弁しました。党議員は、高い保険料を引下げるために、他自治体のように一般会計から繰り入れを行うべきだと追及しました。



党議員が「24年度の国保決算で、歳入歳出の差引が仮にゼロなら、24年度末の基金残高の見込み」を確認。市は「3億5千万円」と答弁。

党議員は「基金を3億円残すなら、5千万円しか保険料抑制に利用できない。3億円維持の方針は見直すべき」と追及しました。

高い国保料を引下げるには、国庫補助金等の改善と共に、市としてできる①一般会計からの繰り入れ、②基金の活用見直しが必要です。

※ 国保の都道府県化により、府レベルでリスク対応するので、市で基金を保有する必要はありません。

マイナ保険証 登録解除スタート

マイナ保険証の取得は義務ではありません



党議員が決算委で、マイナ保健証の登録解除について確認。当局は「国から、10月28日から解除の手続きが出来る」と連絡があった」と答弁。党議員は、市民への周知を求めました。宇治市国保に加入の方は、宇治市国保課で解除手続きができます（社保等の方は加入の保険組合等に問い合わせを）。

日本共産党
宇治市会議員団

議員団だより 2024年11月10日号
宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所内
TEL : 0774-22-3141 (内線 2817)
FAX : 0774-24-7884

共産党議員団への
ご意見・ご相談

